



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月5日

上場会社名 株式会社 千葉興業銀行 上場取引所 東
 コード番号 8337 URL <https://www.chibakogyo-bank.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 梅田 仁司
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部長 (氏名) 中村 遵史 TEL 043-243-2111
 四半期報告書提出予定日 2022年8月8日 配当支払開始予定日 —
 特定取引勘定設置の有無 無
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	13,902	13.3	1,465	△28.9	1,192	△48.3
2022年3月期第1四半期	12,262	9.6	2,062	121.0	2,307	127.0

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 △2,868百万円 (—%) 2022年3月期第1四半期 4,555百万円 (△18.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	20.13	5.59
2022年3月期第1四半期	38.94	10.11

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	3,698,930	171,285	4.5
2022年3月期	3,570,502	175,445	4.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 167,359百万円 2022年3月期 171,607百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計—期末新株予約権—期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期 (予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当行が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式 (非上場) の配当の状況については、P. 3「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期 (累計) は対前年同四半期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	4,200	△11.1	2,600	△35.0	43.89
通期	9,200	2.1	6,200	△2.9	86.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	62,222,045株	2022年3月期	62,222,045株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	2,893,150株	2022年3月期	2,978,673株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	59,246,111株	2022年3月期1Q	59,244,332株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において当行が入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当行として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、国内外の経済情勢、株式市場等の状況変化等がありますが、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

「種類株式の配当の状況」

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る年間配当金の内訳は以下のとおりです。

第二種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	104.00	104.00
2023年3月期	—				
2023年3月期(予想)		—	—	104.00	104.00

第2回第六種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	26.31	26.31
2023年3月期	—				
2023年3月期(予想)		—	—	300.00	300.00

第1回第七種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	900.00	900.00
2023年3月期	—				
2023年3月期(予想)		—	—	900.00	900.00

第2回第七種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	9,000.00	9,000.00
2023年3月期	—				
2023年3月期(予想)		—	—	9,000.00	9,000.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 5
(継続企業の前提に関する注記)	P. 5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 5
(会計方針の変更)	P. 5
(追加情報)	P. 5
3. 2023年3月期第1四半期決算 補足説明資料	P. 6
(1) 損益の状況【単体】	P. 6
(2) 預金、投資信託等、貸出金等の残高【単体】	P. 7
(3) 時価のある有価証券の評価差額【連結】	P. 7
(4) 自己資本比率(国内基準)【単体】【連結】	P. 8
(5) 金融再生法開示債権及びリスク管理債権【単体】	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期のおが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大が抑制され、活動制限の緩和に伴って景気回復が期待されましたが、国際情勢の悪化、急激な円安による為替相場の変動、原材料価格の高騰などにより、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。当行グループが営業基盤とする千葉県におきましても、個人消費や雇用に持ち直しの動きがみられましたが、新型コロナウイルス感染症の終息は見通せず、依然として厳しい状況が続いております。

このような経営環境のなか、当行は2022年4月にスタートさせた新中期経営計画「幸せデザイン 絆プロジェクト 2025 ～CKBコミュニティ確立に向けて 1st ステージ～」に基づき、各種施策を積極的に展開してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の当行グループの経営成績は次のようになっております。

経常収益は、前年同期比16億39百万円増加の139億2百万円となりました。経常費用は同22億36百万円増加の124億36百万円となっております。

これらにより、経常利益は前年同期比5億96百万円減少の14億65百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は同11億14百万円減少の11億92百万円となっております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末比1,284億円増加の3兆6,989億円となりました。また、純資産は同41億円減少の1,712億円となっております。

主要勘定の残高は次のとおりです。預金は前連結会計年度末比655億円増加の2兆8,688億円となりました。また、貸出金は同119億円減少の2兆2,928億円、有価証券は同60億円増加の5,259億円となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月13日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
現金預け金	685,727	809,640
買入金銭債権	97	97
商品有価証券	154	144
有価証券	519,922	525,986
貸出金	2,304,777	2,292,809
外国為替	3,750	5,648
その他資産	36,753	43,128
有形固定資産	19,324	19,087
無形固定資産	2,670	2,627
繰延税金資産	261	578
支払承諾見返	5,844	7,451
貸倒引当金	△8,781	△8,268
資産の部合計	3,570,502	3,698,930
負債の部		
預金	2,803,335	2,868,842
譲渡性預金	129,700	129,700
コールマネー及び売渡手形	—	66,000
債券貸借取引受入担保金	1,243	1,387
借入金	423,646	423,157
外国為替	164	73
その他負債	25,303	26,882
退職給付に係る負債	3,993	3,752
役員退職慰労引当金	38	25
睡眠預金払戻損失引当金	154	116
繰延税金負債	1,631	254
支払承諾	5,844	7,451
負債の部合計	3,395,056	3,527,644
純資産の部		
資本金	62,120	62,120
資本剰余金	7,889	7,888
利益剰余金	88,440	88,334
自己株式	△937	△911
株主資本合計	157,512	157,432
その他有価証券評価差額金	14,495	10,277
退職給付に係る調整累計額	△400	△350
その他の包括利益累計額合計	14,094	9,926
新株予約権	120	101
非支配株主持分	3,718	3,825
純資産の部合計	175,445	171,285
負債及び純資産の部合計	3,570,502	3,698,930

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
経常収益	12,262	13,902
資金運用収益	6,943	7,124
(うち貸出金利息)	5,516	5,375
(うち有価証券利息配当金)	1,325	1,500
役務取引等収益	2,583	2,595
その他業務収益	68	678
その他経常収益	2,667	3,503
経常費用	10,200	12,436
資金調達費用	96	55
(うち預金利息)	69	41
役務取引等費用	1,118	1,072
その他業務費用	277	2,273
営業経費	6,686	6,244
その他経常費用	2,021	2,790
経常利益	2,062	1,465
特別損失	69	0
固定資産処分損	0	0
減損損失	68	—
税金等調整前四半期純利益	1,993	1,465
法人税、住民税及び事業税	117	117
法人税等調整額	△466	104
法人税等合計	△349	221
四半期純利益	2,342	1,243
非支配株主に帰属する四半期純利益	35	50
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,307	1,192

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	2,342	1,243
その他の包括利益	2,213	△4,111
その他有価証券評価差額金	2,151	△4,161
退職給付に係る調整額	61	49
四半期包括利益	4,555	△2,868
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,567	△2,975
非支配株主に係る四半期包括利益	△12	106

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。

なお、これによる当第1四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響)

当第1四半期連結累計期間における新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りの仮定については、前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した内容から重要な変更はありません。

3. 2023年3月期第1四半期決算 補足説明資料

(1) 損益の状況【単体】

【業務粗利益等】

資金利益は有価証券利息配当金が増加したこと等から前年同期比4億円の増加となり、役務取引等利益は前年同期並みを確保しました。一方、その他業務利益は、国債等債券関係損益が大きく減少したため同13億円の減少となりました。これらにより業務粗利益は同8億円減少しております。

物件費の削減を中心に経費が同3億円減少したことから、業務純益は同5億円減少の12億57百万円となりました。また、銀行の本業収益と言われるコア業務純益は同8億円増加(+40.8%)の28億97百万円となっております。

【経常利益】

不良債権処理額や株式等関係損益などの臨時損益は前年同期比1億円の増加となっております。これにより、経常利益は同3億円減少(△17.5%)の18億48百万円となりました。なお、2023年3月期第2四半期業績予想(経常利益43億円)に対する進捗率は42.9%となっております。

【四半期純利益】

四半期純利益は、法人税等合計が増加したこと等から前年同期比11億円減少の17億47百万円となりました。なお、2023年3月期第2四半期業績予想(中間純利益29億円)に対する進捗率は60.2%となっております。

(単位：百万円)

	2023年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	前年同期比
業務粗利益 (除く国債等債券関係損益)	7,345 (8,985)	8,238 (8,516)	△893 (468)
資金利益	7,817	7,400	417
役務取引等利益	1,122	1,047	75
その他業務利益	△1,595	△209	△1,385
経費(除く臨時処理分) (△)	6,087	6,458	△371
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	1,257	1,779	△522
コア業務純益	2,897	2,057	840
除く投資信託解約損益	2,381	1,798	582
一般貸倒引当金繰入額 (△)	(△253)	(48)	(△301)
業務純益	1,257	1,779	△522
国債等債券関係損益	△1,639	△277	△1,362
臨時損益	590	463	127
不良債権処理額 ① (△)	688	57	630
うち個別貸倒引当金繰入額 (△)	(△221)	(△112)	(△108)
貸倒引当金戻入益 ②	474	64	410
償却債権取立益 ③	126	110	16
株式等関係損益	535	357	178
経常利益	1,848	2,243	△394
特別損益	△0	189	△189
税引前四半期純利益	1,848	2,432	△584
法人税等合計 (△)	100	△454	555
四半期純利益	1,747	2,887	△1,139
貸倒償却引当費用 (①-②) (△)	213	△6	220
実質信用コスト (①-②-③) (△)	87	△116	204

(注) 1. 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

2. コア業務純益=業務純益(一般貸倒引当金繰入前)-国債等債券関係損益

3. 2023年3月期第1四半期および2022年3月期第1四半期においては、一般貸倒引当金繰入額と個別貸倒引当金繰入額の合計額が取崩超過となりましたので、取崩超過額を貸倒引当金戻入益に計上しております。

(2) 預金、投資信託等、貸出金等の残高【単体】

①預金、投資信託等預り資産

預金残高は前年同期比 105 億円増加 (+0.3%) の 2 兆 8,811 億円となりました。このうち、個人預金は同 397 億円増加 (+1.8%) の 2 兆 1,360 億円となっております。
 預り資産残高では、投資信託等の残高が同 33 億円増加 (+2.4%) しております。

	(単位：億円)			(参考) (単位：億円)
	2022年6月末	2021年6月末	前年同期比	2022年3月末
預 金	28,811	28,705	105	28,167
うち 個人預金	21,360	20,962	397	21,174
譲渡性預金	1,297	1,097	200	1,297
公 共 債	106	112	△5	104
投資信託等	1,405	1,372	33	1,473
年金保険等	2,098	2,126	△28	2,103

②貸出金

貸出金残高は、中小企業等貸出を中心に増加を図りましたが、前年同期比 150 億円減少 (△0.6%) の 2 兆 2,950 億円となりました。

	(単位：億円)			(参考) (単位：億円)
	2022年6月末	2021年6月末	前年同期比	2022年3月末
貸 出 金	22,950	23,101	△150	23,065
うち 住宅ローン	8,565	8,612	△46	8,630
中小企業等貸出	20,301	20,248	52	20,458

(3) 時価のある有価証券の評価差額【連結】

	(単位：億円)								(参考) (単位：億円)			
	2022年6月末				2021年6月末				2022年3月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
うち益		うち損		うち益		うち損		うち益		うち損		
その他有価証券	4,907	146	245	99	4,927	298	316	18	4,847	206	277	71
株式	361	228	232	3	367	224	227	3	385	250	254	3
債券	2,857	△23	3	27	2,617	10	13	2	2,783	△13	4	18
その他	1,689	△58	9	68	1,942	63	76	12	1,679	△30	18	49

(注)なお、満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式に係る含み損益は以下のとおりであります。

	(単位：億円)								(参考) (単位：億円)			
	2022年6月末				2021年6月末				2022年3月末			
	帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益		
うち益		うち損		うち益		うち損		うち益		うち損		
満期保有目的の債券	327	0	0	0	343	2	2	0	328	1	1	0
子会社・関連会社株式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(4) 自己資本比率 (国内基準)

2022年6月末における銀行単体の自己資本比率は、前年同期比0.10ポイント上昇し8.54%となりました。また、連結の自己資本比率も同0.13ポイント上昇し8.72%となっております。

【単体】

(単位：百万円) (参考) (単位：百万円)

	2022年6月末	2021年6月末	前年同期比	2022年3月末
①自己資本比率 (%)	8.54	8.44	0.10	8.37
②コア資本に係る基礎項目	155,867	159,645	△3,778	154,366
③コア資本に係る調整項目	1,806	2,273	△466	1,781
④自己資本 ②－③	154,060	157,371	△3,311	152,584
⑤リスクアセット	1,802,529	1,863,730	△61,200	1,821,404

【連結】

(単位：百万円) (参考) (単位：百万円)

	2022年6月末	2021年6月末	前年同期比	2022年3月末
①自己資本比率 (%)	8.72	8.59	0.13	8.58
②コア資本に係る基礎項目	161,263	164,729	△3,466	160,270
③コア資本に係る調整項目	1,997	2,514	△517	1,960
④自己資本 ②－③	159,265	162,215	△2,949	158,310
⑤リスクアセット	1,824,481	1,886,479	△61,998	1,844,207

(5) 金融再生法開示債権及びリスク管理債権【単体】

金融再生法に基づく不良債権額は、前年同期比12億円増加の391億円となりました。また、総与信残高に占める不良債権額の割合(不良債権比率)は、同0.06ポイント上昇し1.67%となっております。

今後とも地元企業の経営課題解決支援に取組み、お取引先企業の経営改善を積極的にサポートし、恒久的な金融円滑化に取組んでまいります。

(単位：億円) (参考) (単位：億円)

	2022年6月末	2021年6月末	前年同期比	2022年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	47	43	3	45
危険債権	308	298	9	309
要管理債権	35	37	△1	33
うち三月以上延滞債権	1	0	0	—
うち貸出条件緩和債権	34	36	△2	33
合計 ①	391	379	12	388
正常債権	22,987	23,172	△184	23,093
総与信残高 ②	23,378	23,551	△172	23,481
不良債権比率 (%) ①/②	1.67	1.61	0.06	1.65

以上